

令和7年度 横須賀小学校 学校評価シート

<p>東海市立横須賀小学校</p> <p>住所 東海市高横須賀町大塚36番地 電話番号 0562-32-1291 児童/生徒 686名 校長名 荒木 映 29学級 (内 特支7:知2・情4・肢1)</p>		<p>○ 教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明 る く :よく考え、自ら学び、明るく行動する子ども ・たくましく :命を尊び、心や体を鍛え、たくましく生きる子ども ・心 豊 か に :豊かな心をもち、互いに高め合う子ども 				
<p>○ めざす学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や歌声、笑顔あふれる活力のある学校 ・環境が整備させて、安全安心で信頼される学校 ・家庭や地域、関係機関との連携を図り、学校運営の改善に努める学校 		<p>○ 地域の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古い町並みも残り、学校に協力的な地区である。共働きの家庭が多い割には地域行事やP T A活動などによく参加できている。 ・P T A地区委員は、地域コミュニティの役員や委員としても参加し、連携をとりながら運営されている。 				
中期目標	今年度の目標	評価方法 (アンケート項目)	結果の分析	課題と対応策	学校関係者評価 【実施日】令和8年1月20日	来年度の改善策 (誰が何をどうする)
<p>知</p> <p>個に応じた支援と基礎基本の徹底に向けた学習活動の実践と工夫</p>	<p>○確かな学力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業力向上 ・聞く・話す指導 ・学習規律 ・家庭学習 	<p><授業に関するアンケート></p> <p>児 童 02 授業は楽しい 03 分かりやすい</p> <p>教 師 02 楽しく分かりやすい授業を実施している 保 護 者 02 先生は、楽しく分かる授業をしている</p> <p><基礎基本の学習に関するアンケート></p> <p>児 童 05 横っ子テストに向けて学習に取り組んでいる 児 童 08 家庭学習に進んで取り組んでいる 教 師 06 基礎基本をおさえて指導している 保 護 者 06 先生は、基礎基本をおさえた授業をしている</p>	<p><授業、学習活動に関するアンケート></p> <p>「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合は、児童への設問02では73.5%、設問03では、86.4%であった。授業は分かりやすいが、楽しさを感じる児童は、若干少ないといえる。「全くあてはまらない」と回答した割合は、7.1%・3/7%であった。</p> <p>教師は100%で昨年度と同じで、高い評価となった。保護者は79.7%で、昨年度より4.6%高い評価となった。</p> <p><基礎基本の学習に関するアンケート></p> <p>「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合は、児童への設問05では67.4%、設問08では72%であった。教師は100%、保護者も83.8%と、高い評価となった。児童と教師・保護者に大きな差がある。</p>	<p>児童と教師の評価に大きな差があることや、「まったくあてはまらない」と回答した児童の増加については真摯に受け止める。高学年は、得意不得意の差も大きくなるため、個に応じた学習状況を把握しつつ、家庭との連携を一層深めていく。教師は、授業力向上に努めているので、I C T機器やタブレット端末をより効果的に活用するなど楽しく、分かりやすい授業が展開できるように研究を進める。また、児童の主体的な学習や振り返りを表現していく。</p>	<p>授業の楽しさについては、「難しくなくて」楽しくない場合と、「簡単すぎて」楽しくない場合があると感じた。得意・不得意の差が広がることから、グループ分けするなどをして、子供たちが満足できる学び方ができるとよいと感じた。</p> <p>「授業は分かりやすいか」について否定的な意見が少なく、先生方の工夫や努力は子供たちに伝わっているように感じる。</p> <p>ICT機器の活用については工夫が見られるが、端末や通信環境の影響で授業が止まっています場面もあり、環境面の改善が必要だと思う。</p>	<p>教務主任、現職教育主任を中心に校内研修を年間を通した企画実践をし、教員の資質向上を目指す。</p> <p>教師が、「分かる」「できる」授業づくりをいっそう目指す。児童が「楽しい」と感じるため、授業における導入の工夫やI C Tの活用、「個別最適な学び」と「協同的な学び」が一体化した授業改善を進める。</p> <p>今後も分かりやすい授業を実施していると保護者に理解されるように、学校として年間計画に公開授業を各学期1回程度設定する。</p>
<p>徳</p> <p>心豊かで互いに学び合う子どもの育成、および保護者の理解と協力と信頼を得るための家庭との連携強化</p>	<p>○豊かな心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・返事 ・礼節・言葉遣い ・道徳教育・人権教育 ・異学年交流 ・特色のある学校 	<p><基本的な生活習慣に関するアンケート></p> <p>児 童 10 学校や地域で進んで挨拶をしている 教 師 10 基本的な生活習慣の定着に向けた指導をしている 保 護 者 10 学校は基本的な生活習慣の定着に取り組んでいる 地 域 06 しっかり挨拶ができています</p> <p><特色のある学校に関するアンケート></p> <p>児 童 04 「横小コンサート」など、みんなで歌うことを楽しみにしている 教 師 04 「横小コンサート」や「横っ子テスト」など特色のある教育活動に力を入れている 保 護 者 04 学校は特色ある教育活動に力を入れている 地 域 02 学校は特色ある教育活動に力を入れている</p>	<p><基本的な生活習慣に関するアンケート></p> <p>「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合は、児童69.4%・保護者70.8%地域・住民は65.4%と昨年度より低い評価となり、教師100%は昨年度より高い評価となっている。基本的な生活習慣の定着や自主性までにはいたっておらず、評価には大きな差があり、挨拶等の指導が、十分に表れていないとの結果となった。</p> <p><特色のある学校に関するアンケート></p> <p>「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合は、教師は、92.4%と昨年度より高い評価となった。保護者は、93.1%となり昨年とほぼ同じであった。児童68.8%、地域住民73.5%となり、昨年度よりやや低い評価となった。</p>	<p>「挨拶」「人の話をよく聞く」など、基本的な生活習慣の定着に向けて、家庭・地域とも協力しながら根気強く指導する。また、児童の挨拶運動など主体的な活動を実施し、児童一人一人が学校内外を問わず、いつでも元気な挨拶ができるように取り組む。</p> <p>本年度から横小コンサートを体育館で1日開催へ変更をした。練習方法や発表形態など工夫することができたので、今後も継続していきたい。</p>	<p>挨拶はとても大切なことであるが、「知らない人への声かけ」は、各家庭の考えによるところも大きい。毎日挨拶を続けることで、地域の人のとの認識が変わるのかと思う。学校内での挨拶は十分できている。教職員の回答は高く、学校での指導は十分に行われている印象を受けた。基本的な生活習慣については、学校だけに求めるのではなく、家庭での日常の声かけや意識付けに努めていきたいと思う。</p> <p>「横小コンサート」「横っ子テスト」について、とてもよい取組だと思う。</p>	<p>生徒指導部を中心に、「挨拶」「人の話をよく聞く」など基本的な生活習慣を定着させる。</p> <p>児童会担当を中心に、挨拶運動等、児童の主体的な活動を継続し、元気よく挨拶ができる児童を目指す。また、教職員は児童のよき手本となるように率先垂範に心がけ、根気よく指導する。</p> <p>横小コンサートは、学習指導部と学年音楽担当者が中心となり、歌を通してよりよい運営について改善を図る。</p>
<p>体</p> <p>細やかな配慮と児童理解により、安全で心身ともに健康に生活できる充実した学校づくり</p>	<p>○たくましい体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力づくり ・保健指導 ・食に関する指導 ・外遊び 	<p><健康や安全に関するアンケート></p> <p>児 童 06 安全に気をつけている 児 童 11 規則正しい生活をしている 教 師 12 健康や安全に配慮した対応をとっている 保 護 者 12 健康や安全に配慮した学校づくりに努めている 地 域 05 学校は、安心・安全に配慮した取組をしている</p> <p><心の健康に関するアンケート></p> <p>児 童 01 横須賀小学校は、好きだ 教 師 03 横須賀小学校は、よい学校である 保 護 者 03 横須賀小学校は、よい学校である 地 域 01 横須賀小学校は、よい学校である</p>	<p><健康や安全に関するアンケート></p> <p>「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合は、児童への設問06は86.7%、設問11は70.3%・教師97.5%・保護者83.2%と昨年度とほぼ変わらなかった。地域住民は、65.3%で昨年度より低い評価であった。</p> <p><心の健康に関するアンケート></p> <p>「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合は、児童76.5%・教師97.4%・保護者83.3%・地域住民69.4%の評価であった。「まったくあてはまらない」とした児童が6.8%いて、そこに焦点を当てる必要がある。</p>	<p>児童の健康・安全に対する意識はあるものの、体調不良を訴える児童、学校生活だけがをして保健室を利用する児童は数多くいる。落ち着いた日常生活の維持・運動の促進など、学校全体で健康・安全に関する活動に取り組んでいく。本年度は、学校保健委員会で、歯の健康について力を入れた。今後も家庭と協力して規則正しい生活に心がけ、基本的な生活習慣を整えていく。</p> <p>心の不安定を抱える児童が増えてきている。初期発見と対応を職員がチームを組んで取り組む必要がある。</p>	<p>保護者の意識が大切だと思う。今年度、学校保健委員会に一般の保護者も出席できるようにしたのはとてもよかった。しかし、保健だよりを熟読する保護者は少ないと感じるので、周知方法を改めて考える必要がある。</p> <p>学校以外にも安心できる居場所があるのかという視点で、家庭はもちろん、地域の一員としても見守っていききたいと思う。</p> <p>健康・安全意識は高くあるが、体調不良や心の不安がある。心の不安さをもっている児童が増加傾向にあるのは心配である。</p>	<p>養護教諭を中心に、さわやか点検を継続し、児童の生活習慣を把握し、保護者と連携して課題改善に努める。</p> <p>交通安全担当が中心に、本年度と同様にK Y T登校を週で実施し、登下校時の安全意識を高める。</p> <p>体育主任を中心に、縄跳び集会等体力向上に向けた活動を充実させる。</p> <p>生徒指導主事・保健指導主が中心に、児童が学校に居場所をもち自分と相手を大切にできる活動を進める。SSW・SCなど外部機関との連携も強化する。</p>
<p>地域連携</p> <p>家庭・地域との連携と協力のもとに、地域の将来を担う健やかで心豊かな子どもたちの育成を目指した学校づくり</p>	<p>○地域の教育力の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適時適切な情報発信 ・地域教育力を生かした学び ・学校支援ボランティアの活用 	<p><情報発信に関するアンケート></p> <p>教 師 08 学校の様子を分かりやすく伝えている 保 護 者 08 学校は、学校の様子を分かりやすく伝えている 地 域 04 学校は、学校の様子を分かりやすく伝えている</p> <p><地域連携関にするアンケート></p> <p>保 護 者 07 学校行事などに積極的に参加している 地 域 03 学校は地域活動や行事に協力している 地 域 10 地域は、学校にもっと協力できる</p>	<p><情報発信に関するアンケート></p> <p>「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合は、教師は82.1%、保護者は86.1%で高い評価となり、昨年度と比べてもよい評価となった。しかし、地域住民は65.3%と低い評価となった。昨年度に比べると「わからない」との回答が多くなった。</p> <p><地域連携関にするアンケート></p> <p>「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合は、保護者は90%と昨年度同様、高い評価となった。地域住民への設問08では65.3%、設問10では77.6%と昨年度と比べて低い評価となった。また、「わからない」との回答も多くなった。</p>	<p>ブログの更新をして最新の学校の様子を伝えている。毎月、学校・保健だより等をメール機能を活用し、家庭・地域に児童の様子や情報を伝えている。また、学校だよりは、毎月各地区に配付している。今後さらに、保護者・地域の方々に学校へ足を運んでいただくこととともに、積極的に情報共有を図り、さらに連携を密にしていく。</p> <p>多くの地域行事に児童の参加できるものも増えてきているので、地域の一員として活躍できる児童を目指し、今後も地域との関わりを深めていく。</p>	<p>学校からの情報発信については、ブログや学校だよりなど、継続して取り組まれている様子が伝わってくる。一方で、地域住民の立場から見ると、どこからその情報にたどり着けばよいのかわかりにくいと感じた。二次元コードやURLを案内するなど、「見るきっかけ」を工夫する必要があると思った。</p> <p>地域とも連携・行事の協力は、得られていると思う。子供のころから地域との関わりを植え付けておかねば地元が困ると思う。</p>	<p>校長・教頭を中心に、ブログ・学校だより・保健だよりなどHPやメール機能を活用し、家庭・地域に学校の児童の様子や情報を定期的に伝えていく。</p> <p>教頭を中心に、学校・家庭・地域が協働して子どもたちのために活動できるよう、学校よりの配付と、毎月行われるコミュニティ連合会等を通して共通理解し、連携を進める。</p> <p>学校支援協議会の活動・ボランティア活動について、P T A総会要項などで広報する。また、ボランティア活動を活性化させ、子どもと保護者・地域のつながりを広げていく。</p>